不登校を知らない人たちへ

子どもへの価値観は変わりますね

学校とは……

不登校とは……

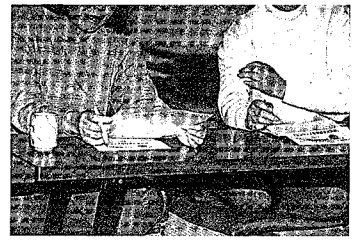
子育てとは……

～不登校を考える親の会～

「不登校を考える親の会」は、不登校の子どもを持ち、悩んでいる親や教師がお互いの悩みや苦しみを話し合う会です。学校や子どもの不登校、子育てのことなど、毎月開かれている同会の定例会から親の声を拾ってみました。

※掲載内容は不登校を考える親の会・定例会（平成9年11月14日）を中心に、不登校の子を持つ親に取材した内容も含んでいます。

子どもの不登校で母親は孤立するだけ



Aさん　一番上の中学生の息子が小学校のときから不登校です。夏休み前、学校で不登校の子を持つ親と学校の先生とで昼食会を開きましたが、先生たちは親に何か聞いてくるわけでもなく、ほとんど黙ってましたね。それに、こうした昼食会に出てこない親もいます。

一番下の小学二年の息子も一年のときから不登校だったんです。二学期から学校へ行くようになったんですが、学校で必要以上に頑張っているみたいで、帰って来るとぐったりと疲れて寝てしまいます。今でも、先生は「家でどうしてますか」といっぱい質問したり、聞いてきたりするのですが、私自身一つ一つの質問にどう答えていいのか分かりません。

家は自営業で、夫、私、姑が働いているのですが、夫と姑は子どもの不登校に理解がなくて、子どもが学校をいやがり、登校前に吐いたりすることが分からないんです。主人は子どもの話を聞くことがないし、たまにすると顔を会わさずに逃げていくし、姑とはそんなに仲がいいわけでもないし、家の中で孤立しています。

Bさん　ご主人が話を聞かないの。私だったら逆に旦那に口やかましく言いますよ。

Cさん　うちも旦那に口うるさく言うと、相手は逃げます。こちらは子どものことで熱くなっているのに、旦那が理解示してくれないと、何か夫婦間に溝ができますね。

Dさん　仕事、夫、姑、子どもと、その中で母親が平常心を保つのは難しいですね。ストレスがたまる一方でしょう。

Aさん　そうですね。ストレスがたまり、そのはけ口を子どもにぶつけてしまうと、今度は自分自身を責めています。

Bさん　うちも自営業で、夫は「子ども、子どもばかり言ってると、仕事がおろそかになる」と言うんです。確かに仕事をしないと食っていけないから、今考えると、夫は子どもに対してゆったり構えていたようです。

Eさん　ただ、男は仕事に頭の九割がいってる。それに子どもが思春期になるころ、自分は仕事の責任が重くなり、子どもと接することが少なくなる。

Bさん　「仕事、仕事、利益を上げろ」で、男はなかなか家庭に目を向けなくなる。

Cさん　男というのは自分も甘えたいから、妻があんまり「子ども、子ども」と言うと、「じゃあ、俺はどうなるんだ」といったところがある。

やっぱりおかしい疑問符だらけの先生も

Aさん　お年寄りは子どもは学校へ行って当たり前の世代だから、子どもの不登校に理解がないです。

Fさん　うちの子も修学旅行だけ参加して、あとはいつもどおりです。八月のあがの川大花火大会のときは、不登校を世話してくれる大学生と一緒に楽しんだようです。今はダンスに夢中で、本人は充実してるかな。勉強は遅れに遅れまくってますから、来春の進路決定は難しいです。

Gさん　子どもの進路のことを考えると、親というのは子どもの生きる道を探す手助けしかできないという感じです。

息子も学校へ行かず、何か時間を持て余しているみたいです。最近異性に興味があり、女の子の友達ができたみたいです。相手の親とも会ったみたいで、向こうの親から「なかなかいい子じゃないですか」と言われました。彼女とよく電話してるから、もう電話代が馬鹿にならなくなって、最近は「ちょっと控えろ」と言ってるんです。

Hさん　一番下の子が学校へ行くかどうか、その日にならないと分からない状況です。ただ一番上の子が不登校だったから、割とゆったり構えていますね。

担任の先生とは連絡を取り合うようにしてますけど、子どもにも学校の中での不満があるみたいで、そのことを親が聞くだけでなく、学校の先生にも聞いてほしいです。話しにくいということもあるけど。

Dさん　先生も、親に人気があるからといって、子どもに人気があるわけでもない。先生の評価は子どもの方が当たっていると思います。

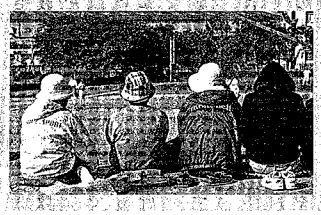
Fさん　先生も子どもに見せる顔と親に見せる顔では違ったりする。親の前では借りてきた猫みたいな声を出すのに、子どもを前にすると「おめえら」「てめえら」と威圧的な態度になる人がいる。先生の中にはガンガン言ってくる親にはかわすことがうまく（親があまり言い過ぎると、シュンとなる先生もいる）、逆に何も言ってこない親にはその子どもにガンガン言ってくる。いい先生もいるけど、先生として疑問符を付けたくなる人もいます。

不登校の子が卒業するとき、その子の担任が「○○さんが卒業し、いなくなるのでホッとします」と言ったのを、別の子の母親が聞いていて「今度、この人がうちの子の担任になるのかと思うと、すごくがっかりした」と話してましたけど、ほんとおかしいですよね。

校長先生も先生として力量に欠けている人は分かるみたいで、ただそれを本人に言うわけにはいかないそうです。

不登校・傷ついた人たちから

母親にふりかかる不登校の責任と対応



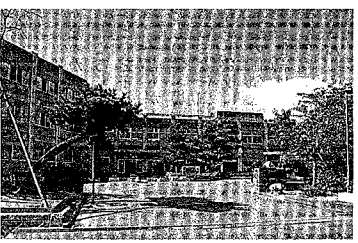
「不登校の子を持つ親（特に母親）は、自分の子が不登校になると家の中で孤立する状態が多いです。

夫の理解がなかなか得られなく、「子どもが学校へ行かないのはおかしい、間違っている」「子どもが不登校になるのはお前の育て方が悪いんだ」といった言葉が返ってきます。育児に対する夫婦の考えにズレがあり、母親は子どもと夫との間で板挟みになります。夫（男性）は社会的なつき合いが頭にあり、どうしても世間体や周りの目が気になってい《子どもの不登校イコール世間体が悪い》と見てしまいます。子どもが不登校になると、母親の方が子どもに理解を示すケースが多いのも、そのせいといわれています。

さらに家にお年寄りがいると、孤立感はさらに深まり、家の中で支えてくれる人がいない状況になるそうです。お年寄りは、学校へ行って当たり前の世代のため、不登校は子どものわがままみっともないものと映りがちです。このような状況の中、母親は子どものことを考えて、夫との別居、離婚に踏み切ることもあります。

母親が仕事に行った後、姑が孫を無理やり学校へ行かせようとするため、子どもたちは押入れに隠れるといった状況が続き、母親は子どもを守るために仕事を辞めたケースも聞かれます。

子どもが不登校になっても父親の姿はなかなか見えず、母親の声しか聞こえてきません。家の中では不登校の責任と対応が、母親にふりかかってくるのが現状です。



子どもへの価値観は変わりますね

Iさん　うちは小学三年の娘が不登校で、不登校になると学校や主人は「とにかく学校へ」と言ってましたが、私は無理に行くこともないと思ってました。

この間、家族三人で児童相談所へ行くと、その後は主人も学校、学校という気持ちはなくなってきたみたいです。

実は娘と交換日記をしたんですが、最初に娘は《私はダメな人間。学校は週に一、二回にしか行かないし、犬は嫌いだし…》と書いてあって、だから私が日記に《今のままでいい》と書いたんです。そしたら次の日記にイラストを書いてきて、そこで交換日記は終わりました。

Fさん　多分、それは娘の気持ちがスッキリした証拠だよ。納得したんだと思う。

子どもがいじめを受け、不登校になり、学校の先生との話し合いの中で、先生も忙しいこと